

管内みなとオアシスに新たな登録証を交付

国土交通省港湾局は、平成29年2月1日、今まで各地方整備局ごとに定めていた「みなとオアシス」の運営要綱を一元化し、新たな運営要綱を定め、「みなとオアシス」の新制度をスタートさせました。

新たな運営要綱では、先般の港湾法改正で規定された港湾協力団体の積極的な活用を図るほか、クルーズ旅客の受入、災害支援等もみなとオアシスの機能に位置づけ、代表施設の標章掲示など広報も強化します。

北陸地方整備局管内全14箇所の「みなとオアシス」は、平成29年2月16日付でこの新たな運営要綱に基づく「みなとオアシス」に移行することが認められ、同日付で登録先が北陸地方整備局長から国土交通省港湾局長に変更されています。

北陸地方整備局 港湾空港部は、平成29年3月3日、管内「みなとオアシス」に対し港湾局長に代わり新たな登録証を交付するため、下記のとおり登録証交付式を開催しました。

記

(交付式の概要)

○日時：平成29年3月3日(金)15:00～

○場所：北陸地方整備局 2階 港湾会議室

○出席者：

みなとオアシス越後岩船 村上市 高橋 邦芳 市長
みなとオアシス聖籠 聖籠町 渡邊 廣吉 町長
みなとオアシス新潟 新潟市 高野 政広 港湾課長

北陸地方整備局

次長 長田 信
港湾空港部 部長 吉永 宙司
総務部 総括調整官 石塚 理
新潟港湾・空港整備事務所 所長 奥谷 丈
港湾空港部 港湾空港企画官 中谷 誠志
港湾空港部 事業計画官 元波 守
港湾空港部 港政調整官 伊藤 淳
港湾空港部 広域港湾管理官 泉田 裕

- 次第： 1.開会
2.主催者挨拶
3.出席者紹介
4.みなとオアシス登録証の交付
5.みなとオアシス代表者挨拶
6.閉会(記念写真撮影)

【同時発表記者クラブ】

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
専門紙

【問い合わせ先】

北陸地方整備局 港湾空港部
広域港湾管理官 泉田(いずみだ)
課長補佐 寺田(てらだ)
TEL 025-370-6706(直通)
FAX 025-280-8783

<主催者挨拶>

【長田 信 北陸地方整備局次長】



- ・みなとオアシスは平成15年にスタートし、現在、管内では14箇所、全国では93箇所にまで拡大・普及した。
- ・管内では平成19年以降登録が始まり、各位にはみなとを核とした地域の活性化に取り組んで頂いていることに感謝申し上げます。
- ・今般港湾局は新制度をスタートさせ、管内全てのみなとオアシスが移行する事となった。
本日は気持ちも新たに各みなとオアシスと各港の振興に取り組んで頂くことを期待してこの場を設けた。
- ・北陸地整としても各港の支援と同時にみなとオアシス制度の更なる普及に努めて参りたい。

<みなとオアシス代表者挨拶>

【みなとオアシス越後岩船 村上市 高橋 邦芳 市長】



- ・越後岩船は昨年7月に認定された若いみなとオアシス。
- ・岩船港は地域住民の生活基盤としての港であり、粟島と結ぶ生活の航路であり、そこに息づく歴史に支えられた港である。
- ・みなとオアシス認定を糧に、地域活性化に向かう新たなキックオフを昨年迎えたと思っている。
- ・県北エリアは高速交通体系を含め若干の苦戦を強いられているが、港を経由した海路は古くからポテンシャルを発揮してきた。
- ・隣接する山形県鶴岡市の鼠ヶ関は生活の繋がりが深く、そちらもみなとオアシス。日本海側を繋ぎ、それぞれのみなとオアシスを繋ぎ、日本海側の賑わいを創出する。こういう意味で、今後の作り込みが必要と考えている。
- ・現在インバウンドを含め諸外国から様々なアプローチがあるが、我々の得意な「食」を通じて日本の魅力を創出していくという面でも、みなとオアシスは力を発揮できると思っている。
- ・県内全4箇所のみなとオアシスと連携し、県のポテンシャルを引き上げるような取り組みを、地域住民と共に進めて参りたい。

【みなとオアシス聖籠 聖籠町 渡邊 廣吉 町長】



- ・聖籠町は新潟東港を抱え、網代浜船だまりという大きな拠点施設がある。ここは漁業者と遊漁者の拠点である。平成21年前後、この背後を新たな海洋レクリエーション基地として拠点的に整備するということで、町を挙げて進めてきた。
- ・この整備と相まって、平成21年の新潟ときめき国体の際にはヨット会場として指定を受け、成功裡に開催された。併せて町では賑わいの創出の拠点とするため「海のにぎわい館」を整備した。このような経緯を経て、平成24年7月にみなとオアシス認定イベントを同会場で行い、5年が経った。
- ・以降、7月の聖籠マリンフェスタ、8月の聖籠夏祭りなど、海洋レクリエーション基地として交流の拠点が図られ、観光拠点としても認知され、マリンフェスタだけでも1万人が来場し海を楽しんで頂いた。また海釣りでは、3月1日に防波堤の開放を開始したが、3日目で既に100人以上が来場するなど、皆様に拠点として受け入れられてきていると感じている。
- ・今回の新要綱ではクルーズ旅客の受け入れや、災害支援機能が付加されるなどの見直しがあったが、我々としても求められる機能に符合するよう、住民の皆様と共に賑わいの創出に向けて取り組んで参りたい。

【みなとオアシス新潟 新潟市 高野 政広 港湾課長】



- (市長メッセージ代読)
- ・みなとオアシス新潟は両岸に9つの施設があり、フェリーやクルーズ船が往来する港ならではの表情にあふれ、都市部にあって新潟が港町であることが実感できる場所
- ・市では平成29年度中の供用開始に向け、万代島に新たな賑わい空間として多目的の広場を整備する。完成後は屋内外のイベント使用など、みなとオアシスとして活用できると考えている。
- ・今後も体制の強化を図り、県内をはじめ北陸のみなとオアシスとも連携し、一層の活性化に繋げたい。

<みなとオアシス登録証の交付>



<みなとオアシス登録証交付式 記念写真>



後 列	北陸地方整備局 広域港湾管理官 泉田 裕	北陸地方整備局 事業計画官 元波 守	北陸地方整備局 港湾空港企画官 中谷 誠志	北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所長 奥谷 文	北陸地方整備局 総括調整官 石塚 理	北陸地方整備局 港政調整官 伊藤 淳
	北陸地方整備局 港湾空港部長 吉永 宙司	みなとオアシス新潟 新潟市港湾課長 高野 政広 様	みなとオアシス越後岩船 村上市長 高橋 邦芳 様	みなとオアシス聖籠 聖籠町長 渡邊 廣吉 様	北陸地方整備局 次長 長田 信	
前 列						